

日本通訳学会第8回年次大会 報告

日本通訳学会第8回年次大会が、2007年9月22日（土）および23日（日）の2日間にわたって大阪大学中之島センターを会場に開催されました。今回は2日間の開催という初めての試みでしたが、海外からの参加者も含め延べ250名を超える参加者を迎え、盛会のうちに無事終了することができました（大会後のアンケートでは93パーセントの回答者が「満足した」「大変満足」と答えています）。実行委員長の津田守会員、および準備段階から当日の受付・会場整理まで、さまざまな雑務を引き受けていただいた大阪外国語大学（現、大阪大学）の院生諸君に、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

今大会の特徴は3点あったように思います。まず、全20本の研究発表のうちおよそ半数が院生によるものでした。いずれもたいへん意欲的な発表で、今後の研究の進展が大いに期待される内容でした。また、本年度の大会では院生有志による初めての自主セッション「学生コロキウム」が開催され、各自の研究テーマについて意見交換をしています。このように、通訳分野の研究に携わる若い研究者が少しずつ増え、本学会を中心に交流と研鑽の輪が広がっていくことは、学会の将来にとってまことに好ましいことであると思います。

2点目は「ワークショップ」の開催です。今回は2日目の午前中を利用して、船山仲他会員と染谷泰正会員による「通訳リサーチ方法論入門」、および永田小絵会員による「中国語通訳翻訳研究入門」と題する2つのワークショップが開催されました。いずれも、若い研究者が増えてきたことを受けて、リサーチ方法論について基本的なノウハウを伝えていくことを目的に企画されたものです。今回は初めての試みということもあって、いくつかの反省点（扱うトピックを限定すること、より具体的・実践的な Hands-on Session とすることなど）がありましたが、このような企画は、来年度以降もぜひ続けていきたいと考えています。

なお、本大会ではコミュニティ通訳分科会主催の「模擬法廷セッション」も開催され、スラング交じりの証人尋問の場面における通訳の影響、あるいは通訳の正確性というテーマについて具体的な事例をもとに活発な議論が展開されました。この企画も本大会のひとつの目玉であったと思います。大会後のアンケートでも、このセッションを「最も興味深かった発表」として挙げる方が少なくありませんでした。本企画の実現に奔走していただいた水野真木子会員、および裏方としてご苦労いただいた関係者の皆様に改めてお礼を申し上げます。

3点目は法務省の後援を得て行われた「グローバル化する日本における法務通訳翻訳の現状と課題」と題する特別シンポジウムの開催です。このシンポジウムは津田守会員の尽力によって実現したもので、わが国における「法務通訳翻訳」の現状と問題点について、法務省、検察庁、入国管理局、刑務所等の関係諸機関・部門の当事者、および実際に現場で通訳翻訳業務に携わっている通訳翻訳人を招いての活発な意見交換が行われました。日本に滞在しないしは在住する外国人の数が急増する中、法務省・検察庁関連のさまざまな業務の中で今や必要不可欠となった「法務通訳翻訳」の現状を把握するとともに、その緊急の課題を浮かび上がらせ、将来にわたっての望まれるあり方を明らかにすることを目的に開催された今回のシンポジウムは、日本通訳学会会員のみならず、不十分な環境・体制の中で日々苦勞されている全国各地の司法通訳翻訳人の方々、および関連政府諸機関・部門の当事者、さらにグローバル化する日本の将来に関心をもつ一般市民にとっても、きわめて有意義な企画であったと思います。

なお、大会第1日目の懇親会には例年にも増してたくさんの方にご参加いただき、楽しくかつ有意義な時間を過ごすことができました。今年の懇親会の目玉は近藤会員および鶴田会員によるピアノ演奏でした。一同、お2人の名演奏にうっとり聞き惚れる中、中村会員によるババロッチェばりの歌声も飛び出し、大いに盛り上がった懇親会でした。来年の大会会場となる獨協大学でもピアノを手配する方向ですでに準備を進めているようです。ババロッチェ氏もさらに美声に磨きをかけてきてくれるものと思います。お楽しみに。(文責：編集部)

添付資料：日本通訳学会第7回年次大会スケジュール

第1日目

09:15 -	受付開始（7階エレベータホール）		
09:45 - 10:00	開会の辞：鳥飼 玖美子（日本通訳学会会長・立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科教授） 実行委員長挨拶：津田 守（日本通訳学会理事・大阪外国語大学大学院通訳翻訳学専修コース主任教授） 場所：A会場（7階）		
	研究発表（次の3会場で行います）		
	A会場（7階） 通訳教育・実践・理論（N=84）	B会場（7階） 翻訳教育・実践・理論、他（N=60）	C会場（7階） 司法・コミュニティ通訳関連（N=48）
10:10 - 10:40	"MANY SHADOWINGS" MODEL 本條 勝彦	新聞記事の「動詞」の韓日翻訳 ストラテジー 金 漢植	紛争と通訳者 武田 河代子
10:45 - 11:15	日英同時通訳における品詞転換 鈴木 憲之（S）	ドイツロマン主義者の翻訳論：F・ロー ゼンツヴァイクに焦点を当てて 斎藤 美野（S）	[コミュニティ通訳分科会セッション] スラング交じりの証人尋問の場面にお ける通訳の影響～模擬法廷とパイロッ トリサーチの結果について 水野真木子・浅野輝子・中村幸子 毛利雅子・吉田理加
11:20 - 11:50	日英同時通訳における方略分類のた めの試論 石塚 浩之	"JAPAN COOL"の輸出法：日本のマン ガの英語翻訳への新たな視点 中村 優子（S）	
12:00-12:30	会員総会（7階A会場） <ul style="list-style-type: none"> ● 活動報告 ● 会計報告 ● 次期活動計画および予算案について ● 第9回総会・大会について ※ 総会に出席できない方は必ず事前に委任状を提出して下さるようお願いいたします。		
12:30 - 13:40	昼食（食堂は2階にあります。お弁当持参の方は1日目のみB会場をご使用いただけます。）		
13:40 - 14:10	英日同時通訳における表層記憶の喪失 関口 洋平（S）	「翻訳教育」とテキスト分析 長沼 美香子	日本の刑務所における通訳翻訳：実務 者の視点からの一考察 修 麗娜（S）
14:15 - 14:45	東京外国語大学における日英通訳指 導について 鶴田知佳子・光藤京子	REGISTERの観点から考察した翻訳メ モリの有効性 山田 優（S）	韓国における法廷通訳翻訳につい ての一考察 成川 彩（S）
14:50 - 15:20	異文化コミュニケーション能力の修得 プロセス～通訳演習参加者の事例よ り 新崎 隆子	MANAGING INCOMPATIBLE IDEOLOGIES IN TRANSLATION / INTERPRETING Ovidi Carbonell i Cortés	台湾の中日通訳翻訳教育について～ 教育機関別の現状と将来 丁 紀祥（S）
15:20-15:50	コーヒーブレイク（7階エレベータホール）		
15:55 - 16:25	焦点連鎖と訳出の語順 河原 清志	単一事例デザインによる自己記録を 用いた文字通訳訓練の効果の検討 吉岡 昌子	北京語言大学中日同時通訳修士課程 における通訳実習の特徴と課題 岩本 明美（S）
16:30 - 17:00	大規模音声コーパスを用いた日英・英 日同時通訳における訳出遅延の比較 分析 小野（S）・遠山（S）・松原	[通訳教育分科会セッション] 通訳教育に関するアンケート調査（平 成18年度実施）の中間報告 田中、稲生、河原、新崎、中村	[学生コロキウム] 学生有志による自主セッション 大阪外国語大学、東京外国語大学、 立教大学、神戸文学院大学の各大学 院生有志
17:00 - 17:30	--		
17:45 - 20:00	総親会（会場＝9階）		

第2日目

09:30 - 10:00	< ワークショップ 受付: 7階エレベータホール >	
10:00 - 12:00	ワークショップ1:「通訳リサーチ方法論入門」 会場: A会場(7階) コーディネータ= 船山伸他・染谷泰正	ワークショップ2:「中国語通訳翻訳研究入門」 会場: C会場(7階) コーディネータ= 永田 小絵
12:00-13:00	昼食(食堂は2階にあります。お弁当持参の方は正午以降に10階の北側ロビーをご利用ください。)	
12:30 - 受付開始 10階	特別プログラム 「グローバル化する日本における法務通訳翻訳の現状と課題」 主催: 日本通訳学会 後援: 法務省 会場: 10階 佐治敬三メモリアルホール 参加費: 無料(会員以外の方も参加できます)	
13:15 - 13:45	第1部 開会の挨拶: 日本通訳学会会長・立教大学大学院教授 鳥飼 玖美子 基調講演: 講師・法務省大臣官房付 松本裕 「法務省・検察庁と法務通訳翻訳」	
13:45 - 14:55	第2部: 発題「現状と課題」 1. 講師・大阪地方検察庁 早川幸延 検事 「捜査及び公判通訳翻訳」 2. 講師・大阪刑務所 渡邊真也 国際対策室長 「刑事施設の運営と矯正処遇等における通訳翻訳」	
14:55 - 15:25	コーヒーブレイク(10階エレベータホール)(質問票回収)	
15:25 - 16:25	第2部(続) 3. 講師・法務省入国管理局 川畑豊隆 法務専門官 「出入国管理及び難民認定業務における通訳翻訳」 4. 講師・法務総合研究所国際協力部 亀卦川健一 教官 「法整備支援活動における通訳翻訳」	
16:25 - 16:40	コーヒーブレイク(10階エレベータホール)(質問票回収)	
16:40 - 17:30	第2部(続) 5. 通訳翻訳人(捜査、弁護、法廷、矯正処遇、更生保護、人権擁護、入国管理及び難民認定、法整備支援などの司法通訳翻訳実務者)からの発言 竹内真由美(英語) 主として法整備支援 チャン ティヒエン(ベトナム語) 主として入管 葉光子(韓国・朝鮮語、中国語) 主として捜査 西松鈴美(スペイン語) 主として矯正及び法廷	
17:30 - 18:00	第3部 6. 質疑応答とまとめのディスカッション	

- ※ 研究発表 = 20分、質疑応答 = 10分(質問は発表内容に直接関連したことについてのみ手短に行うものとします。質問者の単なる意見の陳述はご遠慮ください。)
- ※ プロジェクターとパソコンは各教室に用意してあります(ただし、ウィンドウズ対応のみ)。パワーポイントをご使用の方は Power Point 97-2003 と互換性のある形式でファイルを作成・保存した上で、データを USB メモリーに入れて当日ご持参ください。拡張子が .pptx の Power Point 2007 形式で保存したものは会場のパソコンでは再生できないことがありますのでご注意ください。
- ※ パソコンをご持参の方は各自発表前に会場で接続の確認をしていただくようお願いします。
- ※ 第1日目の総額年会費(1人 5,000 円)は当日、受付でお支払いください。
- ※ 第1日目の発表スケジュールにある (s) は発表者が学生会員であることを示します。

[大会実行委員長]

津田守(大阪外国語大学)

[発表会場担当理事](下線は主担当理事)

A会場: 西村・田中・染谷、B会場: 船山・水野(的)・鶴田、C会場: 鳥飼・近藤・永田・水野(真)

[close]